

図表 2-11 一次計上基準（科目別・部門別）

科目1	科目2	科目3	科目4	計上基準	入院部門					外来部門				中央診療部門						補助・管理部門			
					病棟1	病棟2	病棟3	病棟4	...	01内科	02呼吸器科	03消化器科	04泌尿器科	...	手術	検査	画像診断	リハ	療育	人工透析	栄養	地域連携	診療支援
医業収益	入院診療費			(直接)入院診療費																			
	入院診療収益			(直接)入院診療収益																			
	薬料薬価収益			(直接)薬料薬価収益																			
	外注診療収益			(直接)外注診療収益																			
	床下子病室収益 委託診療・給付利用収益 その他の医業収益				一括計上収益 一括計上収益 一括計上収益																		
医業費用	材料費	医薬品費		(直接)医薬品費																			
		給食用材料費		一括計上費用																			
		診療材料費		レセ薬別点数比																			
		医療用機器賃借料		レセ薬別点数比																			
	給与費	常勤医師		所屬別医師報酬時給比																			
		非常勤医師		所屬別医師報酬時給比																			
		非常勤看護婦		(直接)非常勤看護婦給																			
		非常勤理学療法士		(直接)非常勤理学療法士給																			
		非常勤医療事務員		(直接)非常勤医療事務員給																			
		非常勤薬剤師		(直接)非常勤薬剤師給																			
		非常勤検査技師		(直接)非常勤検査技師給																			
		非常勤放射線技師		(直接)非常勤放射線技師給																			
		非常勤検査技師		(直接)非常勤検査技師給																			
		非常勤検査技師		(直接)非常勤検査技師給																			
	委託費	検査委託費			一括計上費用																		
給食委託費				一括計上費用																			
医薬品委託費				所屬別点数比																			
医薬品委託費				一括計上費用																			
清掃委託費				所屬別面積比																			
保守委託費 その他の委託費				一括計上施設管理 一括計上施設管理																			
設備関係費	増価償却費	医療用器具備品増価償却費 設備増設に元償却設備増設費 その他の設備償却費		一括計上減価償却費 一括計上減価償却費 一括計上減価償却費																			
	修繕費	医療用器具備品修繕費 その他の修繕費		一括計上減価償却費 一括計上減価償却費																			
	燃料費	医療用器具備品燃料費 その他の燃料費		一括計上減価償却費 一括計上減価償却費																			
	電気料	医療用器具備品電気料 その他の電気料		一括計上減価償却費 一括計上減価償却費																			
	水道料	医療用器具備品水道料 その他の水道料		一括計上減価償却費 一括計上減価償却費																			
	ガス料	医療用器具備品ガス料 その他のガス料		一括計上減価償却費 一括計上減価償却費																			
	雑費	医療用器具備品雑費 その他の器具備品雑費		一括計上減価償却費 一括計上減価償却費																			
	研究研究費	研究費		所屬別職員給比																			
	経費	福利厚生費			所屬別職員給比																		
		旅費交通費			所屬別職員給比																		
職員福利費				所屬別職員給比																			
雑費				所屬別職員給比																			
医薬品費				一括計上減価償却費																			
消耗器具備品費				所屬別職員給比																			
消耗品費				所屬別職員給比																			
光熱水費				所屬別面積比																			
保険料				所屬別職員給比																			
交際費				所屬別職員給比																			
雑金費				所屬別職員給比																			
租税公課				所屬別職員給比																			
医薬品出納差 貸倒引当金繰入額				一括計上減価償却費 一括計上減価償却費																			
雑費				所屬別職員給比																			
施設設備外注委託費 本部備品賃借				一括計上運営管理系 一括計上運営管理系																			
医業外収益	受取利息及び配当金			一括計上運営管理系																			
	有価証券売却益			一括計上運営管理系																			
	有価証券売却益			一括計上運営管理系																			
	施設設備補助金収益			一括計上運営管理系																			
	患者外注委託費 その他の医業外収益			一括計上運営管理系 一括計上運営管理系																			
医業外費用	支払利息			一括計上運営管理系																			
	有価証券売却損			一括計上運営管理系																			
	医薬品外注委託費			一括計上運営管理系																			
	診療費外注委託費			一括計上運営管理系																			
	医薬品外注委託費			一括計上運営管理系																			
	貸倒引当金医業外繰入			一括計上運営管理系																			
	その他の医業外費用			一括計上運営管理系																			

注：白色部分に計上されることを表している。
* 直賦できない場合は、レセ薬別点数比を用いて計上する。

(2) 二次配賦

二次配賦は、補助・管理部門に一次計上された医業費用、医業外収益および医業外費用を、入院、外来、中央診療部門へ配賦する手続である。具体的には、補助・管理部門を診療支援系および運営管理系に大別し、それぞれに含まれる部門（部署）に一次計上された値を、費目別に以下の配賦基準に基づき配賦する。

図表 2-12 二次配賦基準

		補助・管理部門								
		診療支援系			運営管理系					
		医事	用度	情報管理	総務	施設管理	図書室			
医業費用	給与費	延べ患者数比率			職員数比率	面積比率	医師数比率			
	委託費				延べ患者数比率					
	設備関係費				職員数比率	面積比率	医師数比率			
	研究研修費									
	経費									
	控除対象外消費税等負担額				—	—	—	(材料費+委託費)比率	—	—
本部費配賦額				職員数比率						
医業外収益		—	—	—	職員数比率	—	—			
医業外費用		—	—	—	職員数比率	—	—			

(3) 三次配賦

三次配賦は、中央診療部門の医業収益および医業費用、医業外収益および医業外費用を、入院、外来部門に配賦することである。具体的には、中央診療部門に一次計上、二次配賦で計上された値を費目別に以下の基準に基づき配賦する。

図表 2-13 三次配賦基準

科目	中央診療部門																			
	手術	検査	画像診断	リハ	薬剤	人工透析	栄養	地域連携												
医業収益	入院収益	外来収益	その他の医業収益						B指導管理科、C在宅患者診療・指導											
医業費用	材料費	医薬品費	給食用材料費	診療材料費	医療消耗器具備品費	給与費	検査委託費	給食委託費	寝具委託費	清掃委託費	保守委託費	その他の委託費	設備関係費	研究研修費	経費	控除対象外消費税等	本部費配賦額	医業外収益	医業外費用	
	等価係数(手術・材料費) × 実施件数	等価係数(検査・材料費) × 実施件数	等価係数(画像診断・材料費) × 実施件数	Hリハ_リテーション_IV点数比	F投薬_IV点数比	J038人工腎臓_IV点数比	全てのSI点数比	B指導管理科、C在宅患者診療・指導	SI点数比	SI点数比	SI点数比	SI点数比	SI点数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	(材料費+委託費)比	職員数比率	職員数比率	職員数比率
	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	Hリハ_リテーション_SI点 点数比	F投薬_SI点 点数比	J038人工腎臓 SI点 点数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比
	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	Hリハ_リテーション_TO 点 点数比	F投薬_TO点 点数比	J038人工腎臓 _TO点 点数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比
	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	Hリハ_リテーション_SI 点 点数比	F投薬_SI点 点数比	J038人工腎臓 _SI点 点数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比
	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比
	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比
	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比
	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比
	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比	延べ患者数比

(注) SI：診療行為、IV：医薬品、TO：特定保険医療材料科

(4) 等価係数

三次配賦で中央診療部門に計上された収益、費用を各診療科に配賦する際には、その配賦基準の一部として「等価係数」を使用する。「等価係数」とは、中央診療部門（手術、検査、画像診断部門）で実施されたサービス種類別に投入した資源投入量（給与費、材料費、設備関係費）のデータから「サービスの1回当たり費用」を算出し、仮にある特定の「サービスの1回当たり費用」を「1.00」とした場合の、当該サービスに関する「サービス1回当たり費用」の比率を算出したものである。

「等価係数」算定にあたっては、病院の中央診療部門で実施されたサービス種類ごとの資源投入量を調査する「特殊原価調査」が必要となるが、本年度においては、「特殊原価調査」を実施せず、平成17年度までの調査研究において作成された等価係数を活用することとした。ちなみに、平成17年度研究までの特殊原価調査にて収集したデータをもとに作成された診療報酬点数表区分別の件数は下図表のとおりである。

図表 2-14 診療報酬点数表部別等価係数作成実績表（平成17年度調査結果）

診療報酬点数表		等価係数作成実績表		
部	区分種類数(全数)	給与費	材料費	設備関係費
手術	964 種類	413 種類	357 種類	110 種類
検査(院内)	194 種類	146 種類	97 種類	34 種類
検査(院外)	27 種類		24 種類	
画像診断	16 種類	13 種類	10 種類	10 種類

上図表のとおり、「等価係数」は全てのサービスに関して作成されているわけではない。従って、平成18年度調査で実施されたサービス（診療報酬点数区分）について平成17年度までの等価係数が存在する場合、しない場合に分けて、以下のような対応を実施した。

まず、平成17年度までの等価係数が存在する場合は、昨年度までの等価係数を標準化したもの（複数の等価係数の中央値）を用いた。また、平成17年度までの等価係数が存在しない場合は、レセプト・データより算出される平均点数（1回当たり点数）を媒介に推計を行う方法¹を暫定的に採用した。

2.2.5. 事後調査

本年度は、診療科部門別収支計算方法の汎用性の検証を主な課題として、対象病院数を拡大して調査を実施した。汎用性の検証にあたっては調査参加病院の意見の検討も重要であるとの認識から、調査終了後に病院に対して事後調査を実施し、調査への対応可能性、計算結果の妥当性、等に関して病院の意見を聴取した。あわせて、現状の各病院の診療科部門別収支把握の状況についても調査した。

¹ 具体的な推計方法は、資料7のとおり。

第3章 調査研究の結果

3.1. 調査対象病院

3.1.1. 調査協力依頼

DPC 対象病院および DPC 準備病院の全病院 731 病院（平成 18 年度）に対し調査協力依頼を行い、このうちの 257 病院から調査協力への応諾が得られた。この 257 病院から全病床数に占める一般病床数の割合が 80%未満である病院等を除いた 235 病院に対して事前調査を実施した。

事前調査では、調査の円滑な実施を目的として、病院でのデータ管理状況等を確認し、その結果、121 病院について本調査への対応が十分可能であると判断された。この 121 病院について開設者および病床規模別に層化抽出を行い、DPC コスト調査への参加状況等も勘案し、最終的に 100 病院を調査対象とした。

図表 3-1 実施項目と対象施設数

実施項目	対象施設数
(1)協力依頼	731 病院
(2)調査に応諾	257 病院
(3)一般病床が 80%未満等を除外	235 病院
(4)事前調査により調査対応可能と判断	121 病院
(5)病床数等による層化抽出	100 病院

3.1.2. 調査対象の選定結果

上記選定の結果選定された100病院を、開設者区分、病床規模別に区分すると以下のとおりである。

図表 3-2 開設区分別、病床規模別の調査対象施設数

	開設区分	病床規模			総計
		20-199	200-499	500-	
DPC 対象病院	医療法人	4	20	4	28
	国立および公立	—	3	2	5
	上記を除く開設区分 ²	2	9	6	17
	小計	6	32	12	50
DPC 準備病院	医療法人	20	9	1	30
	国立および公立	—	7	1	8
	上記を除く開設区分	3	8	1	12
	小計	23	24	3	50
総計		29	56	15	100

² 「上記を除く開設区分」には、「公的」（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）、「社会保険関連法人」（全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）、「その他」（公益法人、社会福祉法人、医療生協など）が含まれる。

3.2. 調査実施状況

3.2.1. 調査票の提出状況

調査票の投函期限は、収支計算ファイルと医師勤務に関する調査は2007年1月26日、レセプト・データまたはEファイルデータは2006年12月26日、実施場所に関する調査は2007年2月2日とした。

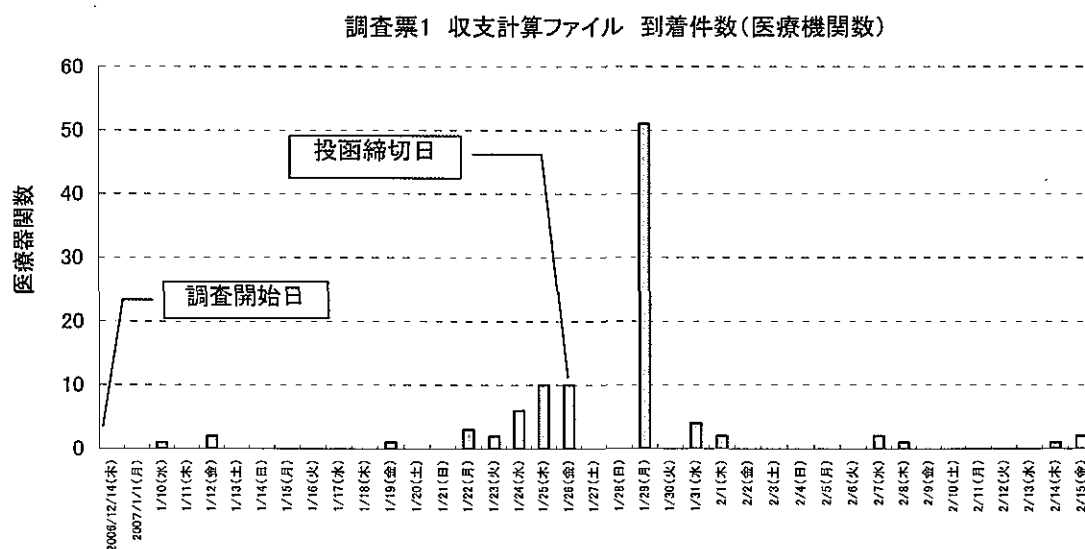
各投函期限と提出状況は図表3-3の通り。また、調査票を送付してからの回収までの推移は図表3-4の通り。

図表 3-3 調査区分別の投函期限及び提出状況

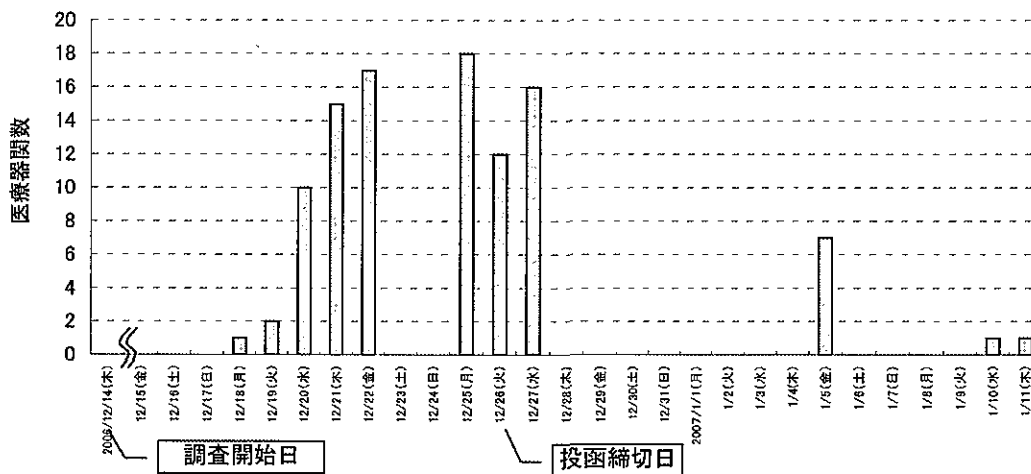
調査区分	調査項目	調査開始	投函期限	医療機関数		
				期限までに提出 ^{※1}	最終提出	うち算定対象
プレ調査	部門設定調査	2006年12月6日	2006年12月11日	85	100	100
本調査	収支計算ファイル	2006年12月14日	2007年1月26日	86	98	67
	レセプト・データまたはEファイル		2006年12月26日	84	100	
	医師勤務に関する調査		2006年1月26日	86	97	
	手術、検査、画像診断の実施場所に関する調査		2007年2月2日	75	99	

※ 1 投函期限から三日以内とする

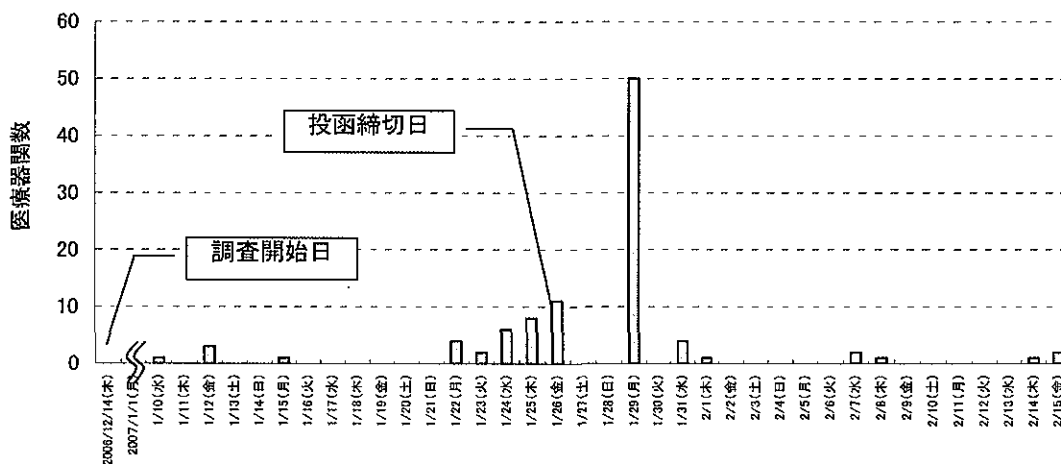
図表 3-4 調査区分別の提出医療機関数の推移



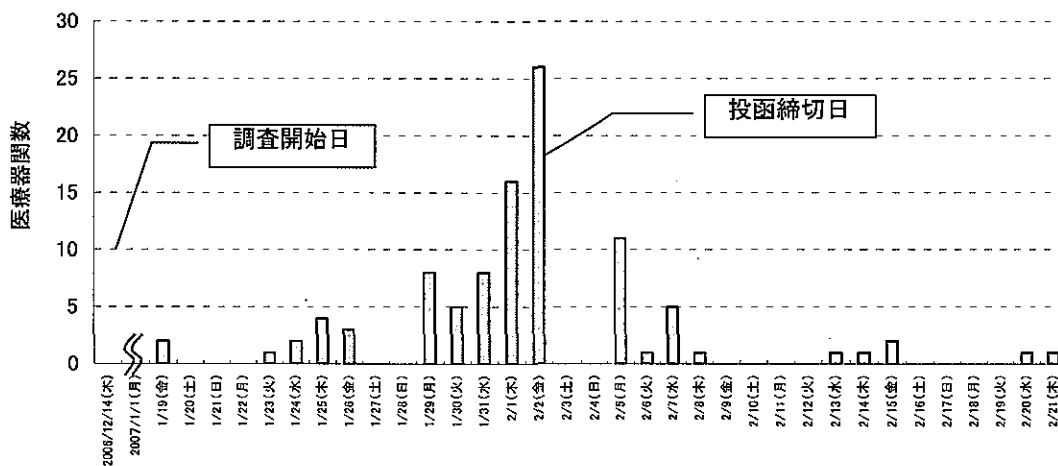
調査票2 レセプトまたはEファイルデータ 到着件数(医療機関数)



調査票3 医師勤務に関する調査 到着件数(医療機関数)



調査票4 実施場所に関する調査 到着件数(医療機関数)



3.2.2. 調査票の記載状況

上記のとおり、調査票1～4を全て提出したのは100病院中97病院であった。これらの97病院について、収集したデータに基づき診療科部門別収支計算を実施した。全ての病院について調査票の記載内容に何らかの不備が見られたが、個別に照会を実施して不備な部分を補正し、最終的にデータを提出した全病院について結果を算出した。ただし、このうち30病院については計算結果の信頼性に欠ける部分があるため、この30病院とデータ未提出3病院を除いた67病院を最終的な本調査研究の分析対象とした。33病院が分析対象外となった理由は下図表のとおりである。

図表 3-5 分析対象外の主な理由

分析対象外の主な理由	件数
Eファイルまたはレセプトデータの診療科コードが不明	6件
部門別費用及び職員数などが不完全	9件
医師勤務時間調査が不完全	3件
歯科部門の把握が困難	3件
データ収集困難なため辞退	3件
その他（算定結果が異常値など）	9件
計	33件

なお、分析対象外の病院も含め、計算が終了した97病院については、計算結果を各病院に還元した。また、分析対象の67病院を含め、データに疑義があった部分の内容や調査班の対応、および今後に向けての改善案については、「第4章 考察 4.1. 汎用性の検証」に詳述する。

3.3. 収支計算結果

3.3.1. 調査対象の基本特性

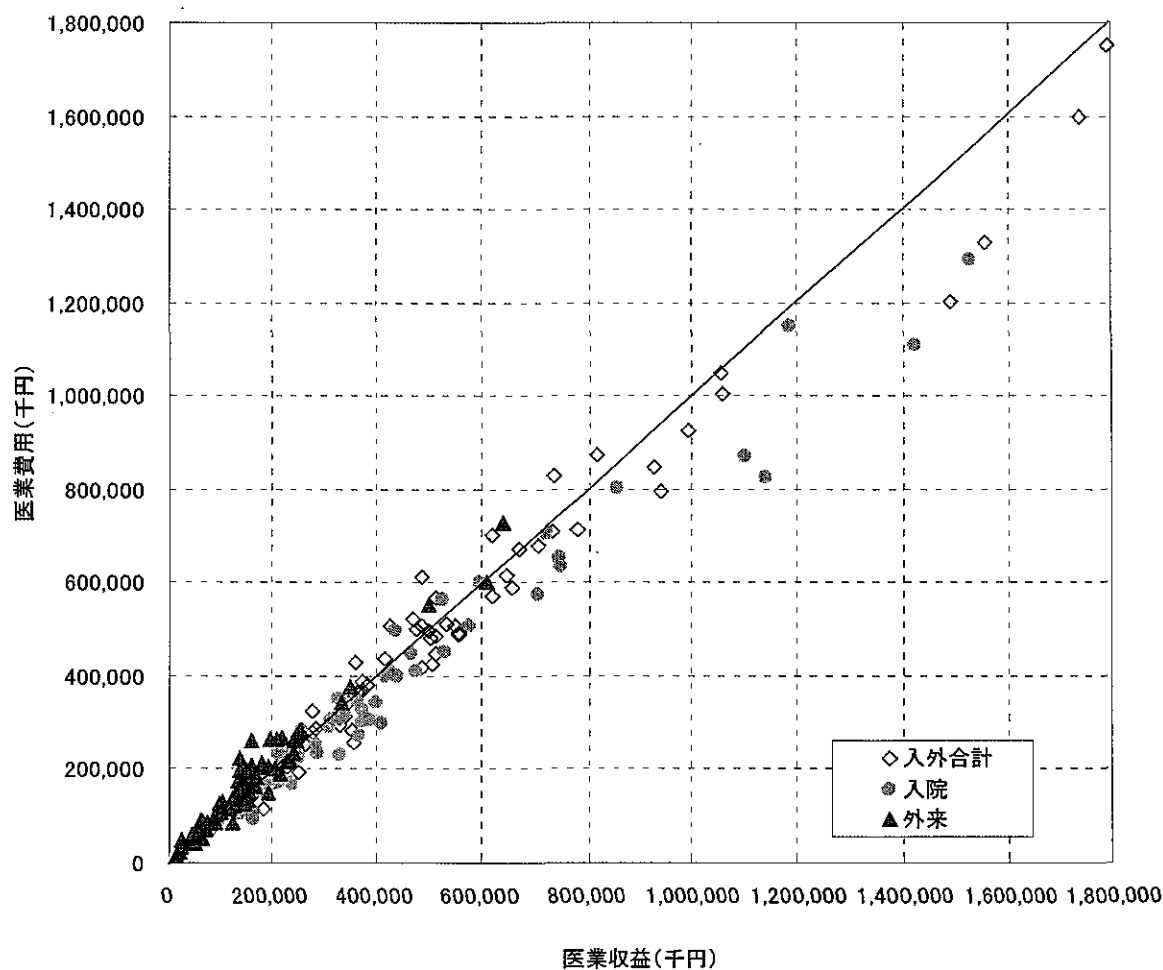
(1) 一施設あたりの医業収益／医業費用分布

- 分析対象病院の医業収益、医業費用の分布を表すと、以下のとおりとなる。

(以降の表示については、各施設における1ヶ月の医業収益、医業費用のみを抽出したものである。これは、調査対象病院の診療科別、入院外来別の医業収支を相対的に検討するためのものであり、これにより病院の最終損益を判断することはできないことに注意が必要である。)

図表 3-6 医業収益／医業費用分布 (三次配賦後)

N=67

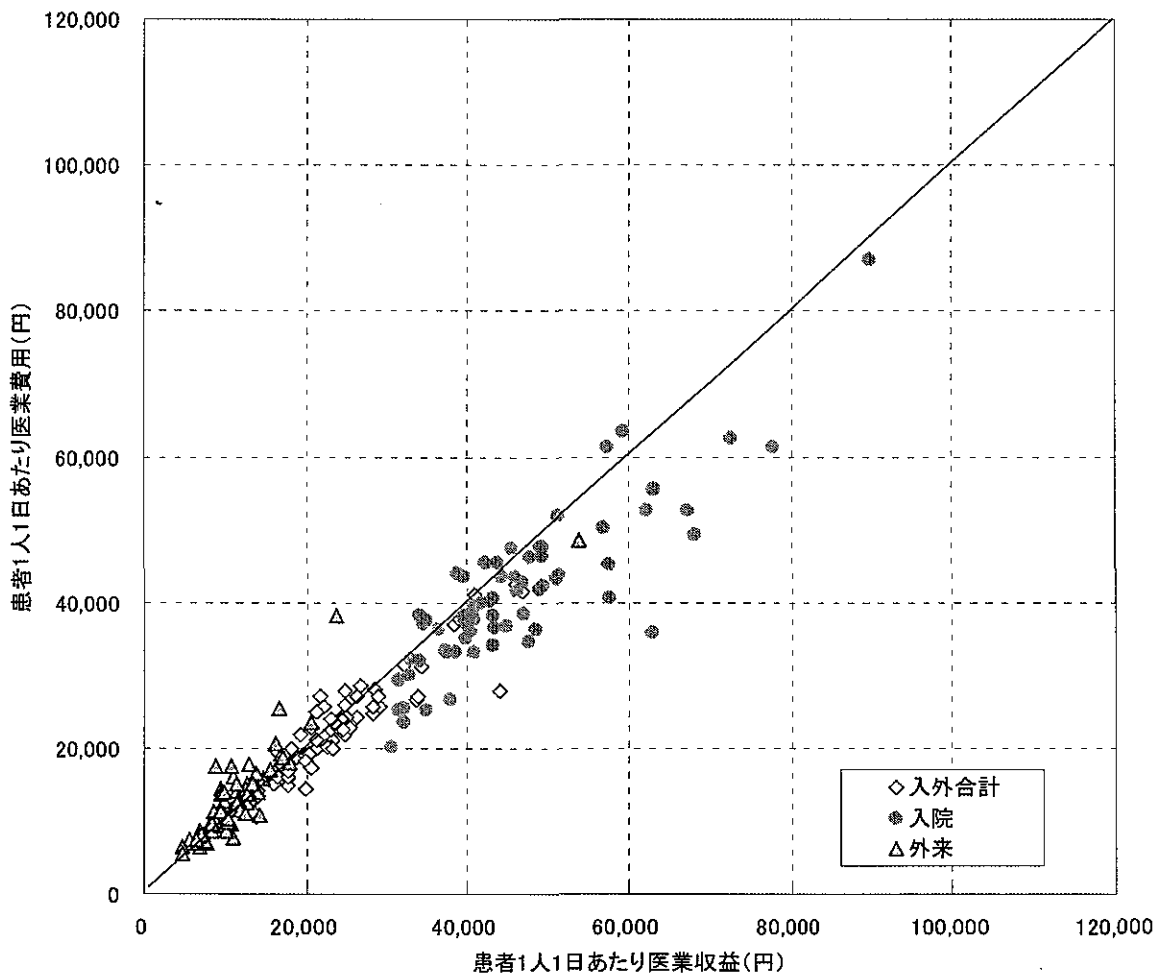


(2) 患者1人1日あたり医業収益／医業費用分布

- 分析対象病院の、患者一人一日あたり医業収益、医業費用の分布を示すと以下のとおりとなる。

図表 3-7 患者1人1日あたり医業収益／医業費用分布 (三次配賦後)

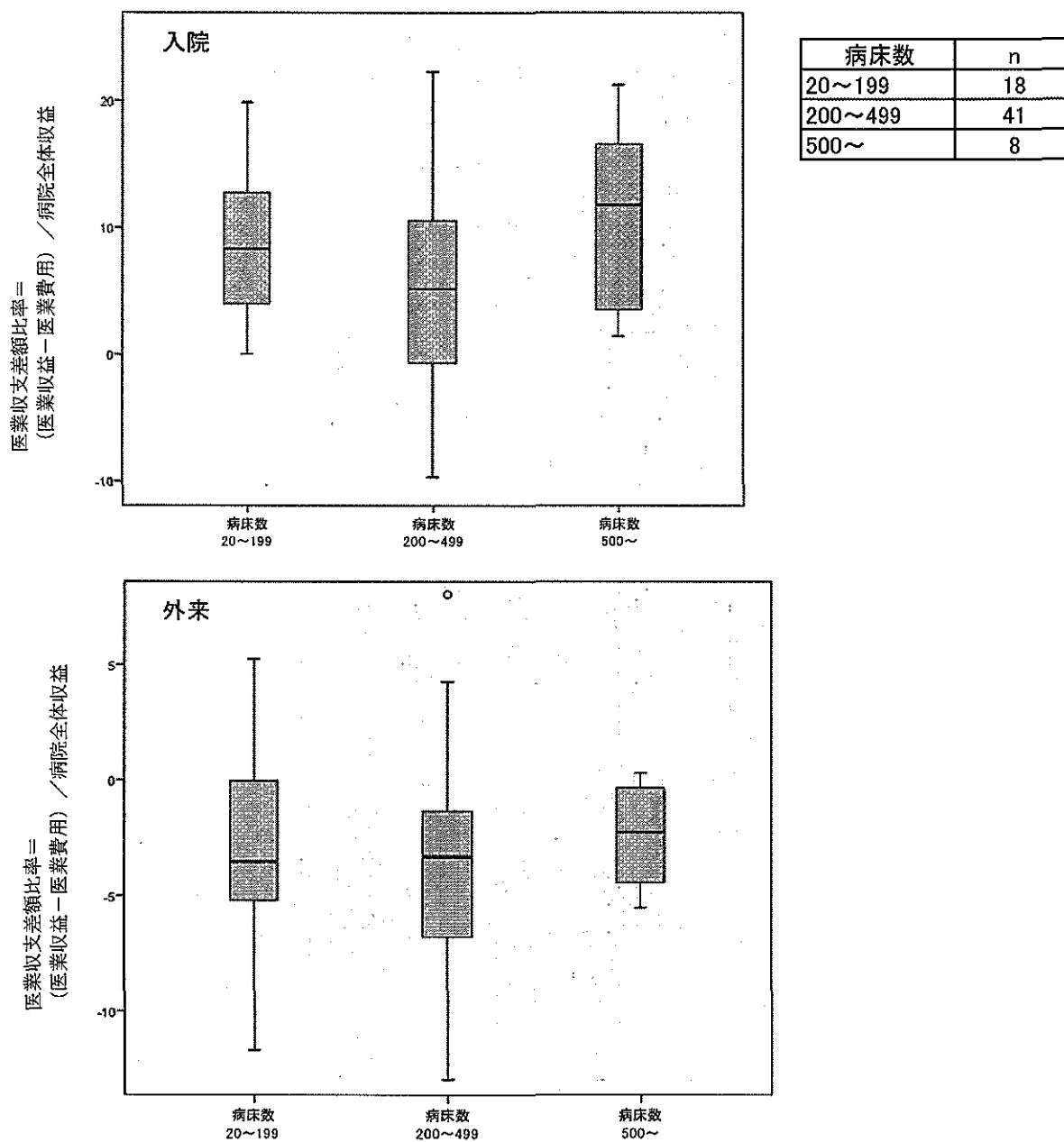
N=67



(3) 入院外来別の医業収支差額比率の分布（箱ひげ図）

- ・入院・外来それぞれの医業収支差額比率の分布を、病床規模別の箱ひげ図で見ると以下のとおりとなる。
- ・入院（上表）の収支差額比率は、外来（下表）に比べて高い傾向にある。
- ・病床規模別による分布の大きな違いは見られなかった。

図表 3-8 病床規模別 入院・外来別収支差額比率分布（三次配賦後）

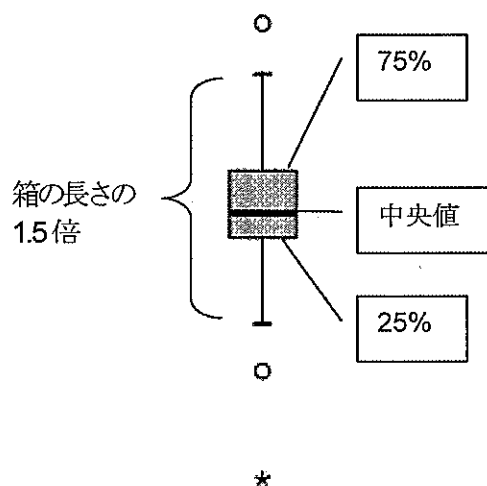


※箱ひげ図

箱ひげ図は、データ解析で用いられる図的表示方法のひとつ。

箱ひげ図の箱の下端がデータの第1四分位(25%)、上端がデータの第3四分位(75%)、箱の中の線が中央値を示す。上下に延びる「ひげ」の長さは、箱の長さの1.5倍以内にある最大値、最小値までの距離である。箱の長さの1.5倍を超えるデータがある場合、1.5倍以上3倍以下のものは「○」、3倍を超えるものは「*」で示される。

図表 3-9 箱ひげ図(例)



3.3.2. 診療科部門別収支計算結果

(1) 診療科部門別収支計算結果

・各病院の入院・外来の診療科部門別収支計算を行った結果の集計は以下のとおり。病院単位で病院全体の収益を100とした場合の各診療科の割合を算出し、それを全病院について単純平均したものである。

(上段：病院全体医業収益額を100とした場合の各項目の占める割合 下段：項目別部門合計を100とした場合の各部門の占める割合)

(入院)

図表 3-10 三次配賦後 診療科部門別収支計算結果 (入院)

	入院部門																											入院計
	内科	精神科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成・美容外科	脳神経外科	呼吸器外科*	心臓血管外科	小児外科**	皮膚科	泌尿器科	こう門科**	産婦人科	産科**	婦人科*	眼科	耳鼻いんこう・気管食道科	放射線科	麻酔科	アレルギー科**	リウマチ科**	リハビリテーション科	
医業収益	17.3 (17.3)	0.4 (0.4)	1.9 (1.9)	1.5 (1.5)	3.5 (3.5)	5.5 (5.5)	3.1 (3.1)	9.7 (9.7)	9.8 (9.8)	0.6 (0.6)	6.1 (6.1)	0.3 (0.3)	2.4 (2.4)	0.1 (0.1)	0.3 (0.3)	2.6 (2.6)	0.3 (0.3)	2.3 (2.3)	0.1 (0.1)	0.4 (0.4)	1.5 (1.5)	0.9 (0.9)	0.1 (0.1)	0.1 (0.1)	0.0 (0.0)	0.1 (0.1)	0.5 (0.5)	71.4 (71.4)
医業費用	16.2 (16.9)	0.5 (0.5)	1.6 (1.7)	1.4 (1.5)	3.0 (3.1)	6.2 (6.5)	2.7 (2.8)	8.0 (8.4)	7.6 (8.0)	0.4 (0.5)	4.8 (5.0)	0.1 (0.2)	2.8 (3.0)	0.1 (0.1)	0.3 (0.4)	2.1 (2.2)	0.2 (0.2)	2.2 (2.3)	0.2 (0.2)	0.6 (0.7)	0.8 (0.8)	0.7 (0.8)	0.1 (0.1)	0.1 (0.1)	0.0 (0.0)	0.1 (0.1)	0.5 (0.5)	63.5 (66.6)
材料費	4.7 (19.0)	0.0 (0.2)	0.3 (1.1)	0.3 (1.1)	0.6 (2.3)	3.5 (14.1)	0.3 (1.3)	1.8 (7.4)	1.4 (5.6)	0.1 (0.3)	0.9 (3.5)	0.0 (0.1)	1.8 (7.2)	0.0 (0.0)	0.0 (0.2)	0.4 (1.4)	0.0 (0.1)	0.3 (1.1)	0.0 (0.1)	0.3 (0.3)	0.1 (0.3)	0.1 (0.4)	0.1 (0.5)	0.0 (0.1)	0.0 (0.0)	0.0 (0.1)	0.0 (0.2)	16.8 (67.8)
給与費	7.8 (16.3)	0.3 (0.6)	0.9 (1.9)	0.8 (1.6)	1.6 (3.4)	1.9 (4.1)	1.7 (3.6)	4.4 (9.3)	4.3 (9.0)	0.3 (0.5)	2.8 (5.8)	0.1 (0.2)	0.8 (1.6)	0.1 (0.1)	0.2 (0.4)	1.2 (2.6)	0.1 (0.3)	1.3 (2.8)	0.1 (0.3)	0.4 (0.9)	0.5 (1.0)	0.5 (1.0)	0.1 (0.1)	0.0 (0.1)	0.0 (0.0)	0.1 (0.1)	0.4 (0.7)	32.6 (68.6)
委託費	0.9 (12.9)	0.0 (0.5)	0.1 (1.3)	0.1 (1.4)	0.2 (2.8)	0.2 (2.7)	0.1 (2.0)	0.4 (5.8)	0.5 (7.0)	0.0 (0.3)	0.2 (3.4)	0.0 (0.1)	0.1 (0.8)	0.0 (0.1)	0.0 (0.3)	0.1 (1.8)	0.0 (0.2)	0.1 (2.1)	0.0 (0.1)	0.0 (0.5)	0.1 (0.7)	0.0 (0.5)	0.0 (0.1)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.1)	0.0 (0.4)	3.3 (48.2)
設備関係費	1.7 (16.4)	0.1 (0.6)	0.2 (2.0)	0.2 (2.0)	0.4 (3.7)	0.4 (3.8)	0.4 (3.4)	0.8 (8.1)	0.9 (8.8)	0.1 (0.5)	0.5 (5.3)	0.0 (0.2)	0.1 (1.2)	0.0 (0.1)	0.0 (0.4)	0.2 (2.3)	0.0 (0.1)	0.3 (2.9)	0.0 (0.2)	0.1 (0.6)	0.1 (0.9)	0.1 (0.8)	0.0 (0.2)	0.0 (0.1)	0.0 (0.0)	0.0 (0.1)	0.1 (0.6)	6.8 (65.3)
研究研修費	0.1 (16.1)	0.0 (0.6)	0.0 (1.7)	0.0 (1.6)	0.0 (3.4)	0.0 (4.1)	0.0 (3.0)	0.0 (8.4)	0.0 (7.9)	0.0 (0.4)	0.0 (8.6)	0.0 (0.2)	0.0 (1.4)	0.0 (0.1)	0.0 (0.3)	0.0 (2.3)	0.0 (0.3)	0.0 (2.7)	0.0 (0.2)	0.0 (0.6)	0.0 (1.0)	0.0 (0.7)	0.0 (0.1)	0.0 (0.1)	0.0 (0.0)	0.0 (0.1)	0.0 (0.5)	0.3 (66.5)
経費	0.9 (18.0)	0.0 (0.6)	0.1 (1.6)	0.1 (1.6)	0.1 (3.1)	0.2 (3.4)	0.2 (3.3)	0.4 (9.2)	0.4 (9.0)	0.0 (0.6)	0.3 (6.0)	0.0 (0.2)	0.1 (1.4)	0.0 (0.1)	0.0 (0.3)	0.1 (2.5)	0.0 (0.3)	0.1 (3.0)	0.0 (0.2)	0.0 (0.7)	0.1 (1.1)	0.0 (0.7)	0.0 (0.2)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.1)	0.0 (0.5)	3.2 (68.0)
控除対象外消費税等負担額	0.1 (18.0)	0.0 (0.4)	0.0 (1.8)	0.0 (1.6)	0.0 (3.9)	0.0 (2.8)	0.0 (2.8)	0.0 (10.3)	0.0 (6.6)	0.0 (0.7)	0.0 (3.8)	0.0 (0.0)	0.0 (3.5)	0.0 (0.1)	0.0 (0.4)	0.0 (2.3)	0.0 (0.0)	0.0 (1.6)	0.0 (0.3)	0.0 (1.3)	0.0 (0.4)	0.0 (0.8)	0.0 (0.1)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.1)	0.0 (0.4)	0.3 (64.2)
本部配賦費	0.1 (28.0)	0.0 (0.4)	0.0 (1.4)	0.0 (0.3)	0.0 (1.2)	0.0 (2.7)	0.0 (3.2)	0.0 (11.4)	0.0 (9.6)	0.0 (0.2)	0.0 (5.2)	0.0 (0.0)	0.0 (3.6)	0.0 (0.0)	0.0 (0.5)	0.0 (2.2)	0.0 (0.5)	0.0 (2.9)	0.0 (0.7)	0.0 (1.1)	0.0 (0.7)	0.0 (0.8)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.7)	0.2 (77.3)
収支差額	1.2 (25.4)	-0.0 (-0.9)	0.3 (6.9)	0.1 (2.2)	0.5 (11.8)	-0.7 (-16.0)	0.3 (7.4)	1.7 (36.2)	2.2 (46.8)	0.1 (2.7)	1.3 (28.2)	0.1 (2.3)	-0.5 (-10.0)	0.0 (0.4)	-0.0 (-0.1)	0.5 (10.5)	0.1 (1.8)	0.0 (0.7)	-0.1 (-1.7)	-0.2 (-4.9)	0.7 (15.6)	0.1 (3.2)	0.0 (0.3)	0.0 (0.4)	0.0 (0.0)	0.0 (0.4)	0.0 (0.3)	7.9 (169.9)
医業外収益	0.4 (21.4)	0.0 (0.9)	0.0 (2.6)	0.0 (1.8)	0.1 (6.0)	0.1 (5.7)	0.1 (4.7)	0.2 (8.6)	0.2 (11.6)	0.0 (0.4)	0.1 (5.3)	0.0 (0.3)	0.0 (1.6)	0.0 (0.1)	0.0 (0.4)	0.0 (2.5)	0.0 (0.3)	0.1 (3.9)	0.0 (0.3)	0.0 (0.6)	0.0 (0.7)	0.0 (0.7)	0.0 (0.1)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.3)	0.0 (0.9)	1.5 (81.8)
医業外費用	0.3 (21.0)	0.0 (0.9)	0.1 (3.8)	0.0 (2.0)	0.1 (4.5)	0.1 (6.4)	0.1 (4.0)	0.2 (10.5)	0.1 (8.9)	0.0 (0.4)	0.1 (8.1)	0.0 (0.3)	0.0 (2.1)	0.0 (0.0)	0.0 (0.4)	0.0 (2.7)	0.0 (0.3)	0.1 (4.1)	0.0 (0.2)	0.0 (0.7)	0.0 (0.8)	0.0 (0.1)	0.0 (0.1)	0.0 (0.1)	0.0 (0.0)	0.0 (0.4)	0.0 (0.8)	1.2 (84.4)
総収支差額	1.3 (25.3)	-0.0 (-0.8)	0.3 (6.3)	0.1 (2.1)	0.6 (11.8)	-0.7 (-14.6)	0.4 (7.4)	1.7 (33.6)	2.3 (45.0)	0.1 (2.5)	1.3 (25.7)	0.1 (2.1)	-0.5 (-9.3)	0.0 (0.4)	-0.0 (0.0)	0.5 (9.9)	0.1 (1.7)	0.0 (0.9)	-0.1 (-1.5)	-0.2 (-4.5)	0.7 (14.5)	0.1 (3.0)	0.0 (0.3)	0.0 (0.3)	0.0 (0.0)	0.0 (0.4)	0.0 (0.4)	8.2 (162.6)

※全病院合計で診療科数が10以下の場合には「*」、5以下の場合には「**」を付した。